

光といのち

第76号

2012年5月1日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

Eメールino-teyy@khaki.plala.or.jp

住職 井上孝昌

法語
死んだら無になるのではない。
亡き人は、私たちの中に、はたらきとして再び生まれてくるのです。
それが往生です。

冠婚葬祭「世論調査の主な結果



下表を見て
どのように
思われま
すか。

萌える若葉に、境内の木々がまばゆいばかりです。皆様、いかがお過ごしでしょうか。
去る四月十二日の『読売新聞』に「冠婚葬祭 簡素に」という記事がありました。
読売新聞社の冠婚葬祭に関する全国調査によると、儀式や行事の簡素化を望む人が九割前後に達し、その背景には地域社会との結びつきが弱まったことなどによる「内輪指向」の高まりがあるようだとあります。
皆様は、

七五三 簡素に行う 盛大に行う	13 86 %
結婚式・披露宴 簡素に行う 盛大に行う	15 84 %
葬式 簡素に行う 盛大に行う	8 92 %
法要 簡素に行う 盛大に行う	3 96 %
自分の葬式で戒名は必要か 必要だ 必要ない	56 43 %
直葬「をどう思うか」 とくに問題ない 問題だ	72 26 %
散骨「など新しい埋葬方をどう思うか」 とくに問題なし 問題だ	18 82 %
葬式の形式や内容は世間体や周囲の意見に左右されがちだ そう思う そうは思わない	67 33 %

冠婚葬祭は、内輪で簡素に行いたいのが、葬式は世間体や周囲の意見もあり、そうもいかない。どうしたらいいものやら？」というものでしょうか。
また地縁が薄れ意識が違ってきた以上、葬式の形式や内容が変化するのは当然でしょう。
しかし、葬式や法事などの仏事が伝えてきた「ころ」は、大事にしなければならぬと思っております。
法語「は、去る春彼岸会の法話の一部分を要約したものです。
世間の感覚では、人間は死んだら無になる」ということでしよう。死んだらゴミ」と言った人もいます。それを言ったのは、一流大学を出て検事総長まで勤めたエリートです。世間の考えをつきつめればそういうこととなります。
ところが先生は「亡き人は、私たちの中にはたらきとして再び生まれてくる。それが往生です」と。
仏教はそのことを「成仏する」とか「依（ほとけ）となる」とも言い表してきました。

なんと温かく豊かな「ころ」でしょうか。
世間の感覚無くしては日々の生活は出来ませんが、それだけでは、あのエリートのように自分を不安や孤独におとしめ、虚しく人生を過ごすことになることではない。
葬式や法要は、仏教が説くこの「ころ」をいただく場だと、先達たちに教えていただきました。
春彼岸会（二月二十日）
世話人や門徒会員、推進員の方々が、積極的に参加を呼びかけ、百二十人余の方々が御参りされ本堂は満堂となりました。
『正信偈』をみなさんでお勤めした後に、真宗大谷派僧侶でカウンセラーの三橋尚伸先生の法話を聴聞しました。
何人もの方から仏法に触れた喜びの声をいただきました。



春彼岸会（二月二十日）



花まつり 四月八日

私たち一人ひとりがみな尊い」と教えてくれたお釈迦様の誕生を祝う行事です。



で本堂は賑わいました。

花まつり」の歌を歌い、花

御堂を紙花で飾り、誕生仏に甘茶をかけ、甘茶をいただきました。その後、紙芝居を演じたりいっしょにゲームをして、子どもたちと楽しく過ごしました。

後半の一時間は、子どもたちにはお菓子を配り自由時間になりました。

本堂で色々なゲームをして遊んだり別室で西山三保子さんにお茶を点ててい



ただいたり、点て方を教えていただきました。ありがとうございました。

来年は、四月七日(日)

午後一時半から二時間ほど行おうと計画しています。

みなさんで遊びに来てください。



千葉組主催 親鸞教室
が当寺で開催されます。
どうぞご参加ください。

記

講師 海法龍 先生

日時 五月十七日(木)

時間 午後一時～四時

受付 十二時半～

参加費 千円

持ち物 念珠・筆記用具

※準備の都合がありますので、五月十日までにお申し込みください。

新盆 初盆)のお飾り

新盆 初盆) 法要には、盆棚や盆提灯・房州切り子と呼ばれる灯籠など、いわゆる盆飾りをする必要はありません。

盆飾りは、おひな様・鯉のぼり・七夕飾り・月見の団子・クリスマスツリーなどと同じ日本の習俗です。

浄土真宗の新盆 初盆) 法要は、仏としての亡き人に出遇い人生を再出発する場です。

お仏壇の掃除をし、生花や供物を供え法要に備えましょう。できれば上の写真のような内敷(うちしき)で仏壇内の卓(せよく)や壇を飾り、左の写真の切り子灯籠(真宗大谷派用)を吊しましょう。これは、お盆に毎年使います。



ご不明な点については、遠慮なく寺にお問い合わせください。

門徒会員の改選

川名喜昭氏より任期満了にともない辞退の申し出がありましたので、役員会を経て永井正一氏(継続)と田村晋一氏(新規)に門徒会員をお願いしました。

当寺の門徒代表として千葉組門徒会の活動に参加していただきます。親鸞教室」もその一つです。よろしく願います。

川名喜昭様には、二期六年間千葉組門徒会の副会長も勤めていただきました。ご苦労様でした。

責任役員として引き続きご尽力くださるようお願いいたします。

行事予定

5月17日

親鸞教室①
同朋の会 お茶会

5月27日 15時

八日講

6月8日 9時

十日講

6月10日 9時

同日講

6月10日 15時

同日の会

6月15日

婦人研修会②

6月18日

親鸞教室⑧

6月24日 8時 30分

奉仕作業

7月8日 15時

同朋の会

8月10日 10時

孟蘭盆会

9月22日 10時

秋彼岸会

10月14日 15時

同朋の会

10月21日 13時 30分

世話人総会

11月13日 13時 30分

仏具御磨き

11月16日 13時 30分

準備・速夜

11月17日 10時 30分

報恩講

以外は当寺が会場です。